

3回戦

2013 年度秋季リーグ戦
第3週 9月 26 日
2勝3敗

駒大1-2 国学大

駒大 000 010 100 2
国学大 230 010 00X 6

春の雪辱果たせず、勝ち点落とす



【右】 散発3安打で肩を落とす江越
【左】 今永は好投も、打線の援護がな
かった。



1勝1敗で迎えた第3戦は投手戦
となった。3回まで安定した投球を見
せていた先発・今永昇太(経2)は失策
と連打で2点を失い、今永は今季3敗
目。打線は一桁安打に抑えられ、春の
雪辱を果たすことはできなかった。

打安点	
(9)砂川	410
(4)前田	300
(6)下川	400
(8)江越	310
(5)福山亮	300
(3)篠原仁	300
2 高橋亮	000
(7)齋藤	200
DH長谷川	200
HD永山	100
(2)岩崎	200
H3西村	111
計	2831

回 打安責
●今永8 1/33052

打線は国学大の好投手、杉浦稔大(4年)帯広大谷)の前に一桁安打に抑えられる。得点圏に走者を進めるがなかなか得点に結びつかず失策から先制を許す。だが9回「とりあえず自分のスイングをしようと打席に入った。打った瞬間いったなと思った」とオープン戦では不調だった西村凌(法4)のレフトスタンドへの本塁打で同点に追いつく。

その裏、「本当に一球一球丁寧に頭を使って投げた」と3回まで三者凡退に抑える好調の立ち上がりだった今永昇太(経2)が連打を浴び、惜しくもサヨナラ負けを喫した。試合後、西村亮監督は「はがゆかった。なかなか打てないピッチャーだったり、その中で攻めていくことを再認識させた。改めて選手に気づいてほしい」と振り返った。

まだ勝ち点がない駒大。「全員で気持ちを切り替えていくしかない」と前を見据えた。

文||北詰友梨
写真||北詰友梨

山本春熙

HEROES #20 岩崎誠悟

突然の起用だった。秋季リーグ直前、9月初回のオープン戦でこれまで正捕手だった木下祐志(市3)が膝を負傷、2日後のオープン戦からマスクを被った。

野球部へは一般受験での入学。苦労もあったが、昨春前には木下とレギュラー争いをするまでに成長した。穏やかな表情が特徴で、西村監督も「気持ち的に優しいところがある」と話す。本人は、「他のキャッチャーよりもピッチャーとコミュニケーションを取っている」と、投手との信頼関係には自信を持っている。

国学院2戦目、相手の3点目をバッテリー間の失策で許してしまうが、前2打席を三振で迎えた6回1死二塁、第三打席、「序盤の3失点は自分のミス。取り返そうと気持ちを強く持って打った」と勝ち越しの適時打。その一打でベンチは一際盛り上がった。「出ているからには自分が中心となって引っ張っていかなければいけない」と責任感にじませた。チームのため、扇の要としての活躍に期待がかかる。(五十嵐秋音)

